

学校・家庭・地域の三者で育てるハキハキ・ニコニコ・モリモリの東っ子

新宮東小学校は、本年度創立30周年を迎え、11月に行った記念式典および記念イベントには、多くの方々に参加いただきました。コミュニティ・スクールとして地域とつながる取り組みを継続的に行っています。

創立30周年記念式典・記念イベント

記念式典には児童代表として5・6年生が出席し、地域とともに育ってきた新宮東小30年の歩みを、参列者のみなさんと共有しました。記念イベントでは学校への愛着を深めるために、卒業生の新宮東小での思い出話を全校児童で聞きました。その後、運動場で子どもたちの夢をのせた1,000個の風船を一齐に飛ばしました。心に残る一日となりました。



▲1,000個の風船 届けどこまでも



▲1枚の紙で作ろう タコクンキャッチャー

東っ子体験フェスタ

P T Aの専門委員会、地域の企業、団体、サークルのみなさんに、それぞれの特技を生かした体験ブースを開いていただきました。

子どもたちは教室や体育館、運動場を使ったさまざまな体験ブースから、興味のあるものを選んで体験しました。体験をとおして新たなつながりが生まれています。

昔遊びをしよう

1年生の生活科「昔遊びをしよう」の学習で、新宮町新寿会の方々に来校していただきました。いろいろな遊びでの巧みな技をとおして、子どもたちと地域の方々のつながりが生み出されています。学習後の交流給食では、温かい雰囲気の中で対話を楽しみました。



▲コマのひもはどうやって巻くの？



▲しっかりねらって 手作りボウリング

幼稚園・保育園との交流

5年生が、来年入学する年長児との交流活動を行っています。本年度はクラスごとに、新宮東幼稚園、新宮つぼみ保育園、上府あおぞら保育園と交流しました。年長児の子どもたちに向けた企画を5年生なりに考え、ともに活動することで、新しいつながりが生まれ、最高学年としての自覚を育てています。